

シラバス

学科 全学科	学年 3学年	科目[単位数] 現代社会[2]
目標など ・現代社会の基本的な問題について、様々な情報を利用し公正な判断をできるようにする。 ・良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。		
学期	単 元	学 習 内 容
1	第2部現代社会と人間 第1章現代の社会生活と成年 1 現代社会の特質とわたしたちの生活 ①大衆の時代 ②情報化の進展と生活 ③国際化のなかの人間 2 現代社会と青年の生き方 ①青年であること ②社会とのつながり ③生きがいと進路の創造 3 よりよく生きることを求めて ①よりよく生きること ②近代科学の考え方 ③人間の尊厳 ④日本人のものの考え方 ⑤外来文化の受容と日本の伝統思想 第2章 現代の経済と国民福祉 1 経済のしくみ ①技術革新と産業社会の変化 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④国民経済の活動水準 2 政府の経済的役割 ①市場と政府 ②財政と財政制度 ③金融の役割 3 変化する日本経済 ①高度経済成長と産業構造の転換 ②経済のバブル化とその崩壊 ③日本の財政問題 ④金融の自由化と国際化 ⑤中小企業と農業 4 豊かな生活の実現 ①自立した消費者への道 ②労働者の権利 ③現代の雇用・労働問題 ④社会保障の役割 ⑤公害の防止と環境保全	<p>現代社会の特質について理解し、この社会でいかに主体的に生きるかを考える。</p> <p>青年期の特徴と意義を理解し、自己形成の課題として自己の生き方がどうあるべきかを考える。</p> <p>先人たちの知恵を学び、人間としてよく生きることとは何かを考える。</p> <p>近代の科学技術の発達が資本主義経済を確立したことを理解し、現在の経済体制の仕組みを日常の時事問題などを組み入れながら考える。</p> <p>日常の時事問題から現代経済の問題を考察し、そこに経済理論や歴史的経緯を活用して理解を深める。</p> <p>プラザ合意後の日本経済の歩みを、最近の日本経済の問題点(不良債権問題・金融ビックバン・財政危機など)と関連させ理解する。</p> <p>安定した成長を続けた日本経済が大きな転機を迎えている様子を、現代経済が抱える諸問題(グローバル化・自由化など)と関連させて理解すると共に、今後の経済のあり方を考える。</p> <p>現代社会に存在する諸問題を具体的に取り上げ、自己の生活に関連させて考える。</p>

2	<p>第3章 日本国憲法と民主政治</p> <p>1 民主政治とは</p> <p>①民主政治の原理</p> <p>②民主政治のしくみ</p> <p>③世界の主な政治体制</p> <p>2 日本国憲法と基本的人権</p> <p>①日本国憲法と三つの原理</p> <p>②基本的人権の保障</p> <p>③基本的人権の保障</p> <p>④新しい人権と国際的広がり</p> <p>3 国会・内閣・裁判所</p> <p>①国会と政党</p> <p>②内閣と行政</p> <p>③裁判所と法の支配</p> <p>4 政治参加と民主主義</p> <p>①選挙と政党政治</p> <p>②世論と政治参加</p> <p>③地方自治と地域社会</p> <p>④平和主義と安全保障</p> <p>⑤民主社会の倫理と課題</p>	<p>現代政治に焦点を当て、そこに政治理論や歴史的経緯を含めた問題を理解し、今後の民主政治のあり方について考える。</p> <p>日本国憲法の性格と成り立ちを理解し、多様性を求められている現代におけるあり方を考える。</p> <p>新しい人権問題のほか現代的な諸問題について、これまでの歴史的意義などをふまえて考察する。</p> <p>三権の役割や権限を正しく理解し、それぞれの働きの重要性について考える。</p> <p>国民参加による民主政治の重要性を考え、有権者として正しく社会に貢献する意識を養う。</p> <p>グローバル化する国際経済の動きを理解すると共に、国内への影響や地域間格差などを考え、今後の国際協調路線に適切に参加できる国際協調性を養う。</p> <p>拡大する世界経済の中で「一国」ではなく、「地域」あるいは「地球規模」で常に考えることの重要性を理解する。</p>
3	<p>3 国際社会の成立と戦後の動き</p> <p>①国際社会の成り立ち</p> <p>②国際紛争をさけるしくみ</p> <p>③国際連合の現状と課題</p> <p>④東西対立とその後の世界</p> <p>4 国際社会の課題</p> <p>①核兵器と軍縮</p> <p>②環境・人口・食糧問題</p> <p>③民族問題と紛争</p> <p>④国際社会と人権</p> <p>⑤地球人として－日本の役割</p>	<p>ウエストファリア条約以降に成立した主権国家のあり方が今日変容していることを理解し、今後の国際平和へ向けての取り組みについて考える。</p> <p>日本の国際貢献に関する問題を様々な事例を取り上げながら、国際社会における日本や個人の果たすべき役割や責任を考える。</p>
成績評価		出席状況、授業態度、提出物、定期考査
使用教材・副教材		教科書 現代社会 (東京書籍) 副教材 最新 ダイナミックワイド 現代社会 (東京書籍)
備 考		

シラバス

学科 機械科 電子機械科 電気情報科	学年 3 学年	科目 [単位数] 体 育 [2]
目標 a 健康や体力について知るとともに、各種の運動実践を通して体力の向上と健康の増進を図る。 b 運動技能の向上とともに、運動の楽しさや喜びを味わう。 c 集団による運動実践を通して公正・協力・責任などの社会生活に必要な資質を身に付ける。 d 健康の大切さを認識するとともに、生涯を通じて運動・スポーツに親しむ態度や能力を身に付ける。		
学 期	項 目	学 習 内 容
1	体づくり運動 (学期を通して) 集団行動 新体力テスト 陸上競技 (短距離走・持久走) 選択制Ⅰ・球技 (バスケットボール、 バレーボール、サッカー、 ソフトボール、ハンドボールから1種目 選択)	体づくり運動(体ほぐしの運動、体力を高める運動) 手軽な運動や律動的な運動を行うことにより、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。また、自分や仲間の体の状態に気付いたり、体の調子を整えたりするとともに、生活のなかで計画的に体づくりを実践していくことができる資質や能力を身に付ける。
		陸上競技(短距離・持久走) 各種目の基本的な動作や基本的な技術を高めるための練習に取り組み、競技したり記録を高めたりする力を養う。 記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わう。
		選択Ⅰ・Ⅱ(球技)※人数等により種目を実施 ゴール型 : バスケットボール、ハンドボール、サッカー、フットサル ネット型 : バレーボール、卓球、バドミントン ベースボール型 : ソフトボール
		体づくり運動 (学期を通して) 陸上競技 (短距離走・持久走) 選択制Ⅰ (1学期と同様) 選択制Ⅱ (バスケットボール、 フットサル、卓球、 バドミントン) から1種目選択 選択制Ⅲ (柔道、剣道、ダンス) から1種目選択
選択Ⅲ(武道: 剣道・柔道・ダンス) 柔道や剣道では、相手の動きに対応した攻防ができるようにすることをねらいとしています。また、礼儀作法を尊重し、武道に対する伝統的な考え方を理解し、それに基づく行動の仕方を身に付ける。 ダンスは全身で表現することにより、自他のよさを認め合い理解することができる運動です。自己の能力に応じた課題を選び、自ら考え工夫するとともに、だれとでも協力して課題を解決する力を養う。		
体づくり運動 (学期を通して) 選択制Ⅱ (2学期と同様)		
成績評価	・出席状況及び生徒個々の単元に対する「関心・意欲・態度」や「思考・判断」および「運動の技能」や「知識・理解」の4つの観点で総合的に評価する。	
使用教材・副教材	・なし	
備考		

シラバス

学科 機械科 電子機械科 電気情報科	学年 3 学年	科目 [単位数] 家庭基礎 [2]	
目標 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。			
学期	項 目	学 習 内 容	
1	「ともに生きる」 1 人の一生と家族 ①自分らしい生き方を考えよう ②家族について考えよう ③家族・家庭に関わる法律を知ろう 2 子どもとともに ① 子どものすこやかな育ちをしろ ②子どものくらしと親のかかわり ③子どもの福祉を考えよう 3 高齢者とともに ①高齢者について考えよう ②高齢社会と高齢者の福祉を考えよう 4 人とのつながりと福祉 ①私たちのくらしと社会福祉	1 「自分らしさ」とは何かを考え、自分らしいライフステージを生きて行くための課題を見つけ出す。 2 青年期の大切な課題「自立」「共存」「職業観」「パートナー選択」について意識する。 3 家族という決まった形があるわけではなく、様々な形があり、また時代によっても変化して行くことを知る。 4 男女が協力し合っていくことの大切さを知り、男女共同参画社会を目指す。 5 家庭生活営むにあたり、多くの法律によって守られていることを意識する。 6 子どもがどのような過程をへて大きくなっていくかを知る。 7 体の発達と精神の発達の両面から子どもを考える。 8 子どもの成長のために、親がどのような役割を果たすのかを意識する。 9 子どもがかかりやすい疾患や、年齢ごとに起こりやすい事故などから子どもの安全を意識する。 10 子育てをめぐるおこるさまざまな問題について考え、少子化の問題点と国の子育てに対する支援を知る。 11 高齢期が自分たちにもやってくることを理解し、高齢者について学ぶ必要性を自覚する。 12 高齢期におこる体やこころの変化を知り、これからのライフステージを考える。 13 日本で急な高齢化が進んでいることを知り、その問題点と支える年金や介護保険のしくみを理解する。 14 誰もが豊かな生活を営むために福祉があることを知り、福祉の重要性を知る。 15 ノーマライゼーションの考え方を理化学、身近なところにあるユニバーサルデザインやバリアフリーを意識する。	
2	「くらしをつくる」 1 くらしのなかの「食」 ①食生活について考えよう ②栄養と食品 ③食品の選択と取り扱い ④献立と調理 ※調理実習 実習例1 日本食の調理 実習例2 調理器具をいかす 実習例3 デザートをつくる ※まとめ ⑤これからの食生活と環境 2 くらしのなかの「衣」 ①衣生活を考えよう ②衣服の材料を知ろう ③衣服の選択と手入れ ④これからの衣生活と環境 3 くらしのなかの「住」 ①住まいについて考えよう ②住空間を計画しよう ③快適な住まいについて考えよう ④これからの住生活と環境	1 現代の食生活の問題点から、日本型食生活が優れていることを知る。 2 家族団らんの重要性について理解する。 3 私たちは、食べ物から栄養を摂取することで生命活動を営んでいることを知る。 4 五大栄養素の特徴、多く含む食品を理解し、調理・加工食品についても意識する。 5 安全・安心な食生活を目指し、食品選択の方法を知る。特に食品表示を正しく読み取る力をつける。 6 食の衛生と安全を考え、食中毒や食品添加物についての正しい知識を知る。 7 1日の献立を考え、何をどれだけ食べたら良いのか計算する。 8 日本人の食事摂取基準を見ながら、年代や年齢によって必要とされる栄養が異なることを意識する。 9 食事のマナーを理解し、よりよい食卓作りを目指す。 * 主な食品の特質や調理法などに関心を持ち、調理実習・実験に取り組む。 調理実習1「和食の献立」・調理実習2「洋食の献立」・調理実習3「洋食の献立」・ * 雑煮比べ・食生活をめぐる問題について考える 10 日本が世界からどのくらいの食料を輸入しているかを知り、地球環境を考えて食生活を送る必要があることを実感する。 1 なぜ人は衣服を切るようになったのかを考え、衣服の機能を理解する。 2 衣服材料にはどのようなものがあり、それぞれがどう異なっているのかを知り、着用目的に応じて素材の選択ができるようにする。 3 私たちの生活を豊かにするためにさまざまな加工が行われていることを知る。 4 衣生活が地球環境に大きな影響を与えることを知り、不要になった衣服をリサイクルする方法を理解する。 5 だれもおしゃれを楽しめるようにユニバーサルデザインの衣服について考える。 6 生活の器としての住居が、私たちの生活に何をもたらすのかを理解する。 7 気候や風土に合わせて工夫されてきたさまざまな住まいを知る。 8 平面図を読み取る力を身につけ、自分の理想的な間取りについて考える。 9 家族構成や年齢によって家に求められる機能が変化することを理解する。 10 家庭内でも多くの事故がおこることを理解し、どのような対策が必要か考える。 11 犯罪に合わないための防犯意識や、災害から身を守るための対策などから安全な住生活を考える。 12 住環境は、住宅そのものだけでなく、周辺地域を含めた住環境に左右されることを理化学し、よりよい住環境づくりのために必要なまちづくりの考え方を知る。 13 地球環境に配慮した住生活を考え、環境共生住宅についてりかいする。	

3	<p>4 暮らしのなかの「消費」</p> <p>①私たちの生活と経済を知ろう</p> <p>②家計から生活を考えよう</p> <p>③消費者としての生活を知ろう</p> <p>④自立した消費者になろう</p> <p>5 快適な生活と環境</p> <p>①私たちの暮らしと環境問題</p> <p>②持続可能な社会を目指して</p> <p>③私たちができること</p> <p>人生を計画してみよう</p> <p>1 ホームプロジェクトと学校 家庭クラブ活動</p> <p>2 家庭基礎のまとめ</p>	<p>1 家庭経済と国民経済のつながりを知り、私たちのお金の流れがどうなっているのかを理解する。</p> <p>2 収入や支出の内訳を理解し、収入の全てがそのまま使えるわけではないと知る。</p> <p>3 貯蓄の大切さを知り、長期的・総合的な視野をもって家計の管理ができるようになる。</p> <p>4 日常生活が、契約によって成り立っていることを知り、消費生活の身近さを実感する。</p> <p>5 支払うや販売の方法が多様化している状況から、しっかりと考えて買うことの大切さを理解する。</p> <p>6 その際必要になる「情報を正しく理解する目」を養う。</p> <p>7 消費生活には多くの問題があることを知り、気をつけるべきポイントを理解する。</p> <p>8 消費者問題の解決のために多くの法律があることを知り、正しい活用方法について考える。</p> <p>1 地球環境の悪化が大きな社会問題になっている現状を知り、私たちの生活が地球環境にどのような影響を与えているか知る。</p> <p>2 地球環境を守っていくために、社会のしくみをどう考えていけばよいのか考え、持続可能な社会、循環型社会を目指す重要性を認識する。</p> <p>3 持続可能な社会をつくるために、私たちに何ができるのかを積極的に考える。</p> <p>4 家庭科の学習から課題を見つけ、生活に活かす。</p> <p>5 家庭基礎で学習した内容を、実生活で応用する。</p>
成績評価	・出席状況，レポート，プリントの提出，授業の取り組み状況や定期考査などにより判断する。	
使用教材・副教材	教科書 「新家庭基礎 とともに生きる 暮らしをつくる」(教育図書) 副教科書 八訂版 最新生活ハンドブック 資料&成分表 (第一学習社)	
備考		

シラバス

学科 機械科	学年 3年	科目[単位数] 課題研究[2]
<p>目標など</p> <p>工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。</p>		
学期	単元	学習内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得 機械製図検定に向けての学習 1. 立体図から投影図 2. 投影図から立体図 3. 断面図 4. 寸法記入法 5. はめあい・各種記号 6. 機械部品の図示方法 7. 製作図 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国工業高等学校長協会機械製図検定にむけて取り組む。 日本工業規格の製図総則、機械製図及び機械要素の各種関連規則の見方および図面の読み方と書き方を理解する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究 1. 課題研究テーマの設定 2. アイディアを図面化 3. 設計図、製作図の作成 4. 製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究発表大会に向けて製作に取り組む。課題研究テーマを設定する過程において、いろいろな意見を出したり、一つの意見としてまとめる能力を養う。 ・研究テーマに沿った設計・製作をする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究発表大会 1. 製作 2. 研究成果の発表 (プレゼンテーションの作成) 3. 報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマに沿った設計・製作をする。 ・研究の成果のプレゼンテーションを行う。 ・班員と協力し、ものづくりをする姿勢を養う。
成績評価		資格取得、課題に取り組む姿勢、報告書、製作品、研究発表、出席状況を総合的に判断して評価する。
使用教材・副教材		機械製図(実教)、自作テキスト他
備考		

シラバス

学科 電子機械科	学年 3年	科目[単位数] 課題研究[2]
<p>目標など</p> <p>資格取得や校内ロボット競技大会用ロボットの製作を通して、課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。</p>		
学期	単元	学習内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得 機械製図検定に向けての学習 1. 投影図 2. 寸法記入法 3. 公差・面の肌 4. 機械要素の製図 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国工業高等学校長協会機械製図検定にむけて取り組む。 日本工業規格の製図総則、機械製図及び機械要素の各種関連規則の見方および図面の読み方と書き方を理解する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・校内ロボット競技大会用ロボットの製作 1. 競技内容の検討 2. ロボットの設計 3. ロボットの製作 4. 競技台の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内ロボット競技大会に向けて6班編成でロボットの製作に取り組む。大会の内容・規則を作成する過程において、いろいろな意見を出したり、一つの意見としてまとめる能力を養う。 ・競技規則に沿ったロボットの設計・製作をする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・校内ロボット競技大会用ロボット製作及び発表と競技大会 1. ロボットの製作 2. 研究成果の発表(プレゼンテーションの作成) 3. 競技大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技規則に沿ったロボットの設計・製作をする。 ・研究成果のプレゼンテーションを行う。 ・班員と協力し、ものづくりをする姿勢を養う。
成績評価		定期考査の得点、小テストの得点、授業出席、授業態度、提出物などについて総合的に行う。
使用教材・副教材		機械製図(実教)など
備考		

シラバス

学科 電気情報科(電気系)	学年 3学年	科目[単位数] 課題研究[2単位]
<p>目標など</p> <p>座学で学んだ知識を活かし、工業に関する課題を自らが設定し、設計・製作を通じて専門的な知識と技術を身につけさせる。また、問題解決に取り組む姿勢、学習意欲、創造性などを育成する。</p>		
学期	単元	学習内容
1	事前調査 テーマ決定 調査・研究・製作	<ul style="list-style-type: none"> ・制作内容について、班単位で事前に調査を行い、研究内容を決定する。 ・班単位で研究内容を設定し、制作・研究に取り組む ・研究内容に必要な調査・研究・制作を行う。
2	調査・研究・製作	<ul style="list-style-type: none"> ・研究内容に必要な調査・研究・制作を行う。 ・研究の方向性について、担当の先生とミーティングを行う。 ・付加価値について考える。
3	調査・研究・製作 最終発表 報告書作成	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく研究内容の結果を整理する。 ・研究内容に沿った、適切な報告書および作品を完成する。 ・研究内容に適した報告書をまとめる。
成績評価		各観点・研究発表・完成作品及び報告書内容を総合的に考慮し成績評価とする。
使用教材・副教材		テーマに応じ、適宜選択
備考		

シラバス

学科 電気情報科[情報系]	学年 3学年	科目[単位数] 課題研究[2単位]
目標など		
<p>目標</p> <p>工業に関する基礎的・基本的な学習の上に立って、工業に関する課題を生徒自らが設定し、その課題を解決する学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、統合化を図るとともに問題解決に取り組む姿勢、学習意欲、創造性などを育成する。</p>		
学期	単元	学習内容
1	事前調査 テーマ決定 調査・研究・製作 中間発表	<ul style="list-style-type: none"> ・自らが工業に関するテーマを1人1テーマ設定し、製作・研究に取り組む。 ・計画を立てて、調査・研究・製作を行う。 ・研究内容に必要な技能を身につける。 ・学期末に、現在までの進捗状況を発表する。
2	調査・研究・製作 最終発表	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てて、調査・研究・製作を行う。 ・研究内容に必要な技能を身につける。 ・製作や調査研究を行い、学期末に、結果を整理・発表し、さらに研究を深める。 ・研究の成果を整理し分かりやすく発表する。
3	調査・研究・製作 報告書作成	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく研究内容の結果を整理する。 ・研究内容に沿った、適切な報告書および作品を完成する。 ・研究内容を適切に報告書にまとめる。
成績評価		<p>日々の学習活動の観察、実習報告書の内容、研究発表(中間・最終)、完成作品 自己評価を通じて評価する。</p>
使用教材・副教材		特になし
備考		